長安寺山門（1798～1800頃、大船渡市）

千葉家／唐獅子土蔵（1895、一関市花泉町）

東本願寺旭川別院大門（1920、北海道）　東京歌舞伎座（1926、銀座）

第１回　気仙大工セミナー

〈気仙大工〉の伝統を未来へ！！

～「（仮称）気仙職人学校」伝統大工コースの試行～

東日本大震災で大被害を受けた岩手県「気仙」地域（旧気仙郡：現在は大船渡市、陸前高田市、住田町で構成）は、古くから一心同体の歴史を歩み、卓越した技量を持つ出稼ぎ大工「気仙大工」を輩出した里としても知られます。

しかし今回の震災で、地域が壊滅的被害を受けるとともに、大工職人や工務店も大きな被害を受け、地元訓練校３校も全校が被災し、後継者が途絶えつつあるなど、歴史ある気仙大工の伝統は大きな危機に立ち至っています。

このコースでは、伝統を未来につなぐ「（仮称）気仙職人学校」立ち上げをめざし、トライアルを行います。

（１）開講にむけた試行…復興で多忙な上、資金面からもすぐの学校立ち上げは難しいが、出来る所から着手する。

（２）地元側と応援側の連携協力の推進…相互が広く連携し、今後への協力方法を模索する。

（３）幅広い受講者の参加…地元だけでなく、応援側も参加し、次代にむけた新たな融合活力を生み出す。

（４）試行を通した課題の把握…従来の枠にとらわれない学校の運営方法や、開講にむけた課題等を皆で検討する。

気仙に元気を送り込むため、ご関心ある方々の幅広い参加を募っています。

被災地は震災５年目に入り、春近い季節。見晴らしのいい箱根山で会いましょう！！

モビリア木造仮設団地（2011、陸前高田市小友町）

木造仮設談話室（2013、陸前高田市広田町）

住田町新庁舎（2014、気仙郡住田町）

■期　日：２０１５年 **3月28日(土)～29日(日)**

■会　場：陸前高田市小友町　**箱根山テラス**

■ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ：裏面参照

■受講料：通し参加 1,500 円（一部参加も可、半日 500 円×３回）

■募集人数：30 名前後（地元＋応援側）

■主　催：NPO 法人　伝統木構造の会

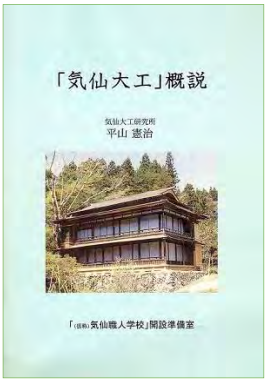
■協　賛：（交渉中）

■助　成：公益財団法人　企業メセナ協議会（GBFund）

■問合せ・申込み先：NPO 伝統木構造の会　復興支援委員会（担当：秋山）

TEL 090-3907-0173　FAX 042-928-5863

E-mail：akitsune4@yahoo.co.jp



使用予定の独自作成テキスト（平山憲治著）

■ｱｸｾｽ：〒029-2207 岩手県陸前高田市小友町字茗荷（箱根山の中腹）

JR 大船渡線 BRT「脇ノ沢」バス停より徒歩 30 分（送迎あり）

箱根山テラス

2014/10 オープン。広田湾を眼下に望む山上に立つ研修＋宿泊施設。被災企業による「なつかしい未来創造㈱」が企画。「㈱箱根山テラス」が運営。

TEL 0192-22-7088

http://www.hakoneyama-terrace.jp/

気仙大工左官伝承館

箱根山テラスに近接。1992 陸前高田市が建設。明治期の気仙民家を想定復元した母屋と、展示館、土蔵風の道具館からなる。TEL. 0192-56-2911

https://sites.google.com/site/kesendaikusakandenshoukan/

（20150301 版）

■プログラム

1日目 **3/28(土)** （箱根山テラス）	13:30 集合、受付 14:00 開講、趣旨・コース説明、参加者紹介 14:30 講義（4科目） **「気仙大工の歴史」**（平山憲治） **「気仙大工の技と次世代育成」**（藤原出穂） **「気仙の林業と課題」**（多田欣一） **「住田町新庁舎の建設を通して」**（佐々木一彦） 18:30 夕食、ディスカッション **「気仙大工の継承と職人学校の推進にむけて」**
2日目 **3/29(日)** （箱根山テラス）	9:00 講義（3科目） **「中大型木造の新たな展開」**（山田憲明） **「新伝統構法と次世代育成」**（三浦保男） **「山の木を生かす」**（柴原　薫） 12:00 昼食
（気仙大工左官伝承館、外部）	13:00 見学会（希望者のみ、以下から選択、ガイド：平山憲治） **「気仙大工左官伝承館の見学」** **「気仙大工建物の見学」**（気仙に残る建物） **「復興状況の視察」**（震災後に建てられた建物等） 15:00 頃、現地解散

■参加費（いずれも当日支払い）

受講料：通し参加 1,500 円（半日 500 円×3 回）

〔以下確保済み。必要に応じてお申込み下さい〕

宿泊費：箱根山テラス 8,000 円（1 泊のみの場合、朝食付き、税込み）

昼食：1,000 円、夕食：2,000 円（いずれも予約要）

（＊参考／団体割引：2泊・10 名以上が成り立つ場合、朝夕2食付、7,500 円×2泊＝15,000 円税込み、お申込み後調整します）

■講師紹介（調整中、一部変更の場合があります）

平山憲治	気仙大工研究所・主宰 大船渡市大船渡町。1938 生まれ。父を継ぎ大工として北海道・東京方面に出稼ぎ。1983 頃腰痛で大工をやめ古書店を開業。1977 頃から独自に気仙大工を研究。著書・共著約 10 冊。産金遺跡研究会・代表。
藤原出穂	出穂（いずほ）建築事務所・代表 陸前高田市小友町。1947 生まれ。父を継ぎ大工として長野・東京方面等に出稼ぎ。設計から施工までこなす事務所を設立。陸前高田高等職業訓練校の校長を長く務める。震災後、いち早く改修に奔走し、現在は復興仕事で多忙。
多田欣一	住田町長 気仙郡住田町。1945 生まれ。東京農業大卒、住田町役場勤務後、2001 より町長。住田町は「森林・林業日本一の町」をめざす。震災直後から、沿岸部への支援物資の輸送、木造仮設住宅の建設など迅速に対応。2014 木造の新庁舎を建設。
佐々木一彦	住田住宅産業㈱・代表 多田町長と同窓。会社は 1982 第三セクターで設立。町長よりの依頼で代表に就任。震災後、いち早く木造仮設住宅を住田町と陸前高田市に建設。2013 住田型復興モデル住宅を建設。2014 住田町新庁舎の建設にも関わる。
山田憲明	㈱山田憲明建築構造設計事務所・代表 東京都品川区。1973 東京生まれ。1997 京都大学卒業後、増田建築構造事務所でチーフ。2012 現事務所設立。2005 ものづくり日本大賞（大洲城）、2011ＪSCA賞作品賞（国際教養大学）、2012 日本構造デザイン賞（東北大工コラボ）
三浦保男	㈲三浦創建・代表 長野県塩尻市。1953 年生まれ。大工修業後、1976 設立。2001 法人化。伝統構法を改良した「新伝統構法」を実践。信州職人学校・実技講師。NPO 伝統木構造の会・副会長。2006 真の日本のすまい賞、2010 信州の名工。
柴原　薫	南木曽木材産業㈱・代表 長野県木曽郡南木曽町。1960 生まれ。中央大学商学部卒。木曽檜を中心に植林から建築まで手がけ、新月伐採材や間伐材で伝統構法建物を建てるなど、新たな試みにも意欲的に取り組む。伊勢神宮や明治神宮に使われるご用木も提供。

■（参考）現地へのアクセスと概算交通費

一人あたり往復交通費（東京からの場合）	A. 電車利用の場合 約 14,800 円×2＝29,600 円 （東京 7:56～一ノ関（新幹線）10:08～気仙沼（JR 大船渡線）11:46～陸前高田～脇ノ沢 12:49（大船渡線 BRT バス）、約 5 時間） B. 車利用の場合 約 3,700 円×2＝7,400 円 （4人乗りで割った場合、片道 510km、高速代 10,000＋ガソリン代 4,800＝14,800 円、約 7 時間） C. 夜行バス利用の場合 往復割引 15,660 円 （池袋 23:00～陸前高田市役所 6:38、片道 8,700 円、国際興業バス／けせんライナー号、約 7 時間半）

FAX 042-928-5863、又は **E-mail : akitsune4@yahoo.co.jp**（担当：秋山宛）

（3/20（金）までにお申し込み下さい。複数名の場合は個別にご送付下さい）

第1回気仙大工セミナー　申込書

氏　名			
所　属		団体等	
連絡先	住所：〒 TEL　　FAX　　E-mail：		
参加希望 （○で囲む）	1 日目 3/28（土） 2 日目 3/29（日）	・午後：講義　・夕方：交流会＋討議 ・午前：講義　・午後：見学会	
宿泊希望	・3/28（土）　〔その他：・3/27（金）　・3/29（日）　〕		
食事希望	・3/28（土）夕食　・3/29（日）昼食　〔その他：・3/28（土）昼食　・3/29（日）夕食〕		
連絡事項			